

◎オパルモン錠, ▼プロレナール錠 [内]

【重要度】 【一般製剤名】 リマプロスト アルファデクス limaprost alfadex 【分類】 プロスタグランジン E1 誘導体制剤

【単位】 ◎5 μ g/錠

【常用量】 30 μ g/日 [6 錠/日]

【用法】 1 日 3 回

【透析患者への投与方法】 透析患者の投与方法に言及した文献ないが、減量の必要はないと思われる (5) 【その他の報告】 設定されていない (1)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 減量の必要はないと思われる (5) 【その他の報告】 設定されていない (1)

【特徴】 末梢血管拡張による血流量増加作用及び血小板凝集抑制作用を有する PGE1 誘導体制剤で PGE1 の 10~100 倍の薬理活性を示す。PGE1 の血小板凝集抑制作用は他の抗血小板剤に比し弱いため、出血の副作用報告は少ない。手術前の中止も 1 日前でよい。

【主な副作用・毒性】 過敏症、消化器症状、搔痒感、肝障害、心悸亢進、低血圧、四肢のチアノーゼ、頭痛、潮紅、ほてり、めまい、倦怠感、浮腫、乳腺腫脹、身ぶるい、下肢多毛など。皮膚血流増加による一過性の顔面紅潮、搔痒感、皮膚潰瘍部の拍動性疼痛が見られることがある。

【吸収】 90%が吸収 (1)

【F】 54% [ラット] (1)

【tmax】 0.42hr (1)

【代謝】 α 鎖の β 酸化, ω 鎖末端の酸化, 五員環の異性化, C-9 位のカルボニル基の還元等を受けて代謝 (1) CYP に影響しない (1)

【排泄】 75~80%が胆汁に排泄され、腸肝循環し、糞中 70%, 尿中 30%の割合で回収 (1)

【CL/F】 6750L/hr (1)

【t1/2】 0.45hr (1)

【蛋白結合率】 95.8% (血中濃度 0.023mM) 13.7% (血中濃度 12.0mM) (1)

【Vd】 データなし (1)

【MW】 380.52 (リマプロスト)

【透析性】 除去されないとと思われる (5) 資料なし (1)

【TDM のポイント】 TDM の対象にはならない 【O/W 係数】 資料なし (1)

【更新日】 20170417

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。